

報告事項

令和元年度事業報告

I 公益目的事業

(1) 対馬丸記念館の管理運営事業

対馬丸記念館の管理運営に資するよう事業の円滑な遂行に必要な協議を行うために内閣府、県及び厚生労働省（オブザーバー参加）の関係部署並びに対馬丸記念会を構成員とした「対馬丸平和祈念事業協議会」の幹事会（令和元年10月30日、内閣府沖縄振興局：茂木参事官補佐出席）、平和協議会（同11月27日、沖縄振興局：戸崎調査官）を開催。いかにして来館者を増やして自主財源を確保、もって館の自主運営を実現できるのか、について有意義な意見交換が行われた。

ア 常設展事業

公益財団法人として記念館の展示を通して対馬丸事件の歴史と教訓を伝えながら、二度と悲劇を繰り返さない、繰り返させない、「学びの場」、「平和の種をまく施設」として引き続き平和の発信に努める必要があり、そのためにも、記念館の環境整備に努めた。その一

つとして、館内の雨漏り修繕、屋上の盛土撤去工事を実施した。この件に関しては、特定積立資金の取り崩しを理事会の承認を得て行った。今後、屋上の効果的な利用方法など模索し、もって更なる来館者増に繋げていきたい。費用は約320万円。

イ 特別展事業

(ア) 「対馬丸75年の想いー対馬丸撃沈～記念館開館～そして現在ー」

対馬丸撃沈から75年、慰霊碑・小桜の塔建立から65年、そして対馬丸記念館開館から15年。対馬丸に関する75年の主な出来事を年表で歩みながら、遺族・関係者から持ち寄せられた犠牲者の大切な遺品、対馬丸や犠牲者に想いを寄せた資料など、収蔵品35点を公開。対馬丸の子供たちのことや、遺族・関係者の想いを伝えるとともに、次の世代へつないでいくことを目指した。

開催期間：令和元年8月22日（木）～9月29日（日）

33日間

観覧者：1562人（県内505人、県外999人、国外58人）

(イ) 「第67回全琉図画・作文・書道コンクール那覇秀作展」

沖縄タイムス社主催の全琉図画・作文・書道コンクールにおいて、最優秀賞、優秀賞に入選した那覇市内小中学校の児童・生徒の作品191点を展示。展示会を通して、地域や学校、子供たちなど多くの人々と記念館をつなげ、子供たちの生き生きとした表現豊かな作品から、改めて平和の大切さを感じとってもらう機会とした。

開催期間：令和元年12月21日（土）～令和2年1月2

6日（日） 29日間

観覧者：1,475人（県内572人、県外834人、国外69人）

ウ 対馬丸及び学童疎開に関する調査・研究事業

対馬丸事件の歴史に関する資料、証拠の収集に努め、学童疎開に関する戦前、戦中、戦後にわたる世の中の動向や情勢を調査、研究し、常設展並びに特別展の展示資料の充実を図った。

また、記念会が発行する刊行物などの基礎資料とした活用し

た。

エ 来館促進事業

対馬丸事件の史実と教訓を広く世の人々に伝え訴える、という記念会の目的を達成するため、記念館の存在を周知徹底させ、もって少しでも多くの来館者増を図るのは、記念館の最大の課題である。そのため、県内の小・中学校（那覇54校、中北部230校）ワークブック、パンフレットとともに、記念館訪問の際の見学プランも併せて送り、学校行事として位置付けられるよう提案した。また、県内の主だったホテルにもパンフレットを送付、宿泊客への呼び掛けを要請した。

安謝小学校の児童が作成した対馬丸のタペストリーをデジタル化し、現物の保存を図るとともに、レプリカの常時展示を実現した。また、平和コーナーのピンナップボードを設置した。

さらに、記念館内の遺影5件（4枚5人分）を追加展示した。令和元年度の刻銘の追加はない。

(2) 対馬丸戦没者の追悼と遺族等の福祉の向上並びに地域住民との交流促進

ア 対馬丸犠牲者の追悼と慰霊祭の実施

今年度は対馬丸記念館の創設15周年を迎え、また撃沈から75年の節目ということもあり、恒例の慰霊祭には例年になく多くの遺族、生存者、関係者が参列した。その数、約550人。また、奄美の宇検村長はじめ、「新作組踊 対馬丸」を演じた北谷町の子供たち、関係者も大勢参加した。

来賓も那覇市長はじめ、初めて県から謝花副知事が出席。心のもった弔辞をいただいた。

イ 語り部事業

県内小・中学校等からの依頼に応じて、生存者、遺族等の語り部によって県内外で講話を実施した。県外については、外間常務が法政大学、上原清氏が広島で講話を行った。

実績：延べ117回 内訳：館内67回 館外：50回 県外：
2回

受講者：延べ13,959人

ウ 相談事業

遺族、親族等の現況を把握するためそれぞれの家庭への訪問

調査を行い、課題等を把握した。現在の家族構成、後継者などについて聞き取り調査を行い、また仏壇の保持者、慰霊祭への参加状況、現在の健康状態などを確認した。

実績：54人

エ 講習会及び遺族と地域住民との交流促進

遺族、親族等が健康で不安なく生活していけるよう、医療関係者等を講師として招聘し、「ちゃーがんじゅう講座」を開催した。

(ア) テーマ 「治せる認知症？－脳外科医の立場から－」

講師 沖縄赤十字病院名誉院長 高良 英一氏

期日 令和元年（平成31年）11月30日（土）

参加者 130人

(イ) テーマ 「楽しい折紙講座で脳活しましょう！」

講師 金城和美・日本折紙協会認定講師

期日 令和元年2月29日（土）

参加者 15人

※当初、3月7日（土）を予定。コロナウイルスの影響で前倒しで実施した。

オ 広報活動

広報誌「対馬丸通信」を2回発行し遺族や生存者及び協力会員、那覇市内の全（54校）小中学校、県議会議員、那覇市議会議員などに配付し、関係者聴き取り調査の結果や、また昨年に引き続き市立上ノ山中学校3年生による記念館英語説明パネルの作成、対馬丸記念館開館15周年を迎えた慰霊祭など、記念会の活動や記念館の運営状況等を報告した。

(3) 子供たちに対馬丸の悲惨な歴史を伝え、平和を発信する事業

ア 子供たちの平和学習推進事業

(ア) 「平和学習推進連携委員会」の開催

那覇市教育委員会指導主事、那覇市内小中学校の平和教育担当の教諭(小中から各1人)、平和関連施設職員、対馬丸記念会理事長の5委員からなる「平和学習推進連携委員会」を2回開催し、平和教育研修会や平和学習作品展などの実施について協議・決定した。

(イ) 「那覇市内全小中学校平和教育担当者研修会」の開催

平成25年度より那覇市教育委員会と共催で開催している、

那覇市立小中学校54校の平和教育担当教諭を対象とした研修会を5月と8月に開催した。

5月は記念館の活用紹介や館内及び旭ヶ丘公園・顕彰碑見学を行い、記念館の活用について改めて周知を図った。また、8月は那覇市歴史博物館学芸員による講話や上山中学校・城北小学校教諭による平和学習実践発表などを行い、沖縄戦の知識を深めるとともに、取り組みや課題を共有した。

(ウ) 平和学習補助教材の制作

令和元年度より3年間かけて新たな平和学習補助教材の製作を行う。

今年度は、次年度からの教材制作への参考にするために、学校の平和教育担当教諭や県内類似施設職員への聴き取り調査、また、県外類似施設へのアンケート調査を実施し、情報収集に努めた。

(エ) 対馬丸事件に関し、事件生存児童の「疎開先での生活」を聴取項目として聴き取りを実施した。該当者が既に故人である場合は、「親族等に生前話していた体験談」、「手記の複製」等聴き取り及び複製作業を行った。

生存者聴取 8 人 親族等聴取 10 人 手記複製 2 人

イ 子供たちによる平和活動発信事業

子供たちが日常的・主体的に平和発信活動が行えるようにすることを目的とする事業として、「平和学習作品展」の実施や、「つしま丸児童合唱団」の活動を推進。「平和学習作品展」は、子供たちが平和学習の取り組みでまとめた作品（平和メッセージや平和新聞、感想文など）を、「平和のひろば」（1階）にて展示した。

「つしま丸児童合唱団」（団員数 23 名）は毎週土曜日、対馬丸記念館にて英語あそびと合唱の活動を実施。6 月には「沖縄戦没者追悼式」に参列し、多くの人々へ平和の歌声を届けた。

II 収益事業「物品販売・会議室賃貸事業」

自動販売機 3 台の販売手数料収入（販売額の 20%）があり、また、書籍「対馬丸 沈む」、小説「対馬丸」（大城立裕著）、公式ガイドブック、DVD「もうひとつの沖縄戦」、「対馬丸へー今を生きる私たちから」などの販売収入もあった。記念館会議室又は企画展示室の賃貸も、わずかだが収入があった。

Ⅲ その他事業「旭ヶ丘公園周辺緑化事業」

旭日ヶ丘公園内、小桜の塔近辺に、白い花の咲くクメノサクラ

1本を、昨年度に引き続き植栽した（2万五千円）

Ⅳ 法人会計「管理事業」

対馬丸記念館の管理運営を実施するとともに、対馬丸記念会
理事会及び評議員会の開催、庶務経理業務等を遂行した。

Ⅴ 「新作組踊 対馬丸」上演

令和2年1月19日（日）、対馬丸記念館開館15周年記念、組踊
上演300年記念企画と銘打って「組踊 対馬丸」が上演された。
この作品は、昨年10月に北谷町が平和推進事業として公演したも
のを、是非那覇でも公演をとの機運が盛り上がり、記念館主催とし
て実現にこぎつけた。準備期間が短いこともあり、しかも、職員に
とっても初めての取組とあってかなりの難航が予想されたが、職員
の尽力で何とか実現にこぎつけて盛況裡に終えることが出来た。当
日、会場は約640人の観客で埋まり、一部、入場出来ない人もいた
ほど。さらに、1月5日には「吉永小百合・坂本龍一 チャリティ
ーコンサート」も成功させ、60万円の寄付を頂いた。